

製造工業生産予測指数の結果に含まれる予測誤差について加工を行い、鉱工業生産指数の先行きを試算することとしましたので、参考値としてご利用ください。

**鉱工業生産指数の先行き試算値(季節調整済前月比、%)**

	<b>試算値</b>	<b>予測調査結果</b>
<b>4月前月比</b>	<b>5.3</b> (4.3~6.4)	8.9

※黒太字が、最も可能性の高い値(最頻値)。

最頻値とならない場合でも、( )の幅の中に90%の確率で収まるという計算結果になっている。

**【加工方法について】**

製造工業生産予測指数の結果から計算される予測誤差(実現率)の値から、突発的事象によらない傾向的な誤りを抽出し、この傾向的な誤りを除去しています。

なお、加工方法については、結果精度の改善のため、今後、予告なく修正、追加の可能性がありますので、時系列で利用できることは保証いたしません。

(参考1) 平成29年3月の鉱工業生産指数と試算値の比較

	鉱工業生産指数	試算値
3月前月比	-2.1	<b>-0.3</b> (-1.3~0.7)

※試算値欄の黒太字が、最も可能性の高かった値(最頻値)。  
最頻値とならない場合でも、( )の幅の中に90%の確率で収まるという計算結果になっていた。